

見附を健幸なまちに スマート ウェルネス みつけ を目指して



スマート ウェルネス みつけ

体の健康だけではなく、人々が生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送れる状態を“健幸（けんこう）＝ウェルネス”と呼び、これをまちづくりの中核に据えた取り組みを、見附市で実践しようと言うのが「スマート ウェルネス みつけ」です。

歩きたくなる歩道や美しい公園などが整備されることで、体を動かす機会が増えたり、心が和んだりして、自然と市民一人ひとりの健康につながります。また、外出する機会が増えることで、まちの中に交流が生まれ、人と人のつながりが強くなり、まち全体に活気が生まれることが期待されます。

最近のさまざまな研究から、人と人との交流やつながりが強い地域ほど、健康な人が多いということが証明されてきました。近年、周りの人や社会に積極的に関わろうとする人の多いまちづくり、すなわち、ソーシャル・キャピタルの高いまちづくりが求められていますが、“健幸”なまちづくりを考える際にも、大きなカギを握るものと考えられています。

市はスマート ウェルネス みつけを推進し、人と人がつながり“健幸”を実感できるまちづくりに挑戦しています。

【スマートウェルネスみつけ推進のイメージ】

